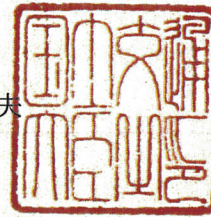


認定書

国住参建第 4220 号
令和 5 年 2 月 28 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

- 認定番号
PS060WL-1174-1
- 認定をした構造方法等の名称
ケーブル・電線管・給水管・排水管／熱膨張材入ポリオレフィン系樹脂・シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
- 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ケーブル・電線管・給水管・排水管／熱膨張材入ポリオレフィン系樹脂・シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分(中空壁を除く)

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	矩形 (150mm×370mm以下)
	面積	0.0555m ² 以下
本体部材と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		3～10mm
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		27.2%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定 耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0049、 FP060NP-0075、FP060NP-0185、FP060NP-0189、FP060NP-0192、 FP060NP-0233、FP060NP-0250、FP060NP-0258、FP060NP-0294、 FP060NP-0345、FP060NP-0360、FP060NP-0399(1)、FP060NP-0399(2)、 FP060NP-0427(1)、FP060NP-0427(2)、FP060NP-0441(1)、FP060NP-0441(2)、 FP060NP-0454、FP060NP-0487) 厚さ 42mm 以上

3. 主構成材料の仕様 :

主構成材料の仕様を表2に、ケーブル・配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
本体(貫通部材)	熱膨張材	数量	10個以下(5列以下、2段以下)	
		材料		
		寸法	幅: 64mm以上、高さ: 58mm以上、長さ: 29mm以上(2分割)	
		密度		
		使用箇所	本体部材の中央部に設置	
		組成(質量%)		
	本体部材	材料		
		寸法	幅: 70(±7)mm、高さ: 70(±7)mm、長さ: 222(±25)mm(2分割)	
	アダプター	緩衝材	材料	
			密度	
寸法			配管外径による φ 27.5mm 以上 φ 30.5mm 以下: 幅: 14(±2)mm、厚さ: 11mm 以上 φ 30.5mm を超え、φ 36.5mm 以下: 幅: 14(±2)mm、厚さ: 8mm 以上 φ 36.5mm を超え、φ 42mm 以下: 幅: 14(±2)mm、厚さ: 6mm 以上	
使用箇所			配管と本体部材の間に隙間がないよう設置	
蓋		材料		
		質量		
		寸法	配管外径による φ 27.5mm 以上、φ 30.5mm 以下: 幅: 23.0(±3)mm、内径: φ 32.5mm 以下 φ 30.5mm を超え、φ 36.5mm 以下: 幅: 23.0(±3)mm、内径: φ 38.5mm 以下 φ 36.5mm を超え、φ 42mm 以下: 幅: 23.0(±3)mm、内径: φ 44mm 以下	
シール材		使用箇所	緩衝材の保持	
		材料	仕様: あり又はなし 建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類: シリコン系	
		使用箇所	必要に応じて、被覆材付配管の緩衝材表面に塗布してもよい	
充てん材	使用量	10g 以下		
	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類: ①又は② ①変成シリコン系 ②ポリウレタン系		
補修材	充てん量	開口部の隙間に密に充てん (壁表面から42mm以上)		
	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類: ①又は② ①変成シリコン系 ②ポリウレタン系		
	使用量	本体部材同士の突合せ及び躯体との設置箇所に使用 (80g/個以下)		

表3 ケーブル・配管等の仕様

項目		仕様			
ケーブル (電線)	導体(又は芯線)の断面積	1本あたり	6.3mm ² 以下		
		総合計	31.4mm ² 以下		
	総有機量	0.115kg/m以下			
	導体(又は芯線)の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質			
	絶縁体	厚さ	ポリエチレン系	0.5mm以下	
			塩化ビニル系		
			ポリオレフィン系		
合成ゴム					
介在(円形に調整する充てん材)	紙、ジュート、ポリプロピレン、又はなし				
シース	塩化ビニル系	厚さ	1.5mm以下		
配管等 配管等の種類(電線管・配管(給水管・排水管)・さや管・挿入管)	合成樹脂製可とう電線管 (JIS C 8411 CD管、PF管)	外径	厚さ	φ27.5mm～ φ42.0mm (CD管、PF管)	—
	さや管(合成樹脂製可とう管) 材質：ポリエチレン樹脂			φ27.5mm～ φ42.0mm	—
	架橋ポリエチレン管 (電線管又はさや管に挿入できる) (JIS K 6769、JIS K 6787、JXPA401(架橋ポリエチレン管工業会規格)又はこれらに規定された要求性能を満足したもの)			φ27.0mm以下 φ13.0mm以下 (3本以下)	3.55mm以下
	ポリブテン管 (電線管又はさや管に挿入できる) (JIS K 6778)			φ27.0mm以下	2.90mm以下
	被覆付き架橋ポリエチレン管 (電線管又はさや管に挿入できる) 管：架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787) 被覆：オレフィン系不織布			φ31.0mm以下 (管φ27.0mm以下)	5.25mm以下 (管3.25mm以下、 被覆2.0mm以下)
	外傷防止機能付き架橋ポリエチレン管 (電線管又はさや管に挿入できる) 管：架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787) 被覆：オレフィン系エラストマー樹脂			φ31.0mm以下 (管φ27.0mm以下)	5.25mm以下 (管3.25mm以下、 被覆2.0mm以下)
	発泡ポリエチレン系			φ25～φ38mm (仕上り外径)	5mm以下 (管φ17.0～ φ27.0mm) 10mm以下 (管φ8.0～ φ17.0mm)
発泡架橋ポリエチレン系					
発泡ポリウレタン系					
発泡ポリスチレン系					
発泡ポリプロピレン系					
発泡フェノール系					
発泡難燃ポリオレフィン系(酸素指数28以上)					
グラスウール					
ロックウール					
発泡合成ゴム系(ニトリル、ブチルゴム)					
使用方法	1)配管(管φ8.0～φ17.0mmの架橋ポリエチレン管)に10mm以下の被覆材を用いる 2)配管(管φ17.0～φ27.0mmの架橋ポリエチレン管、ポリブテン管)に5mm以下の被覆材を用いる				
ラッピング材	材料	仕様：あり又はなし ①又は② ①アルミニウム箔貼ポリオレフィンフィルム ②ポリオレフィンフィルム			
	厚さ	0.03mm以下			
	使用方法	必要に応じて、電線管又はさや管内に挿入される配管(挿入管)を複数束巻き付け			

4. 副構成材料の仕様：
副構成材料の仕様を表4に示す。

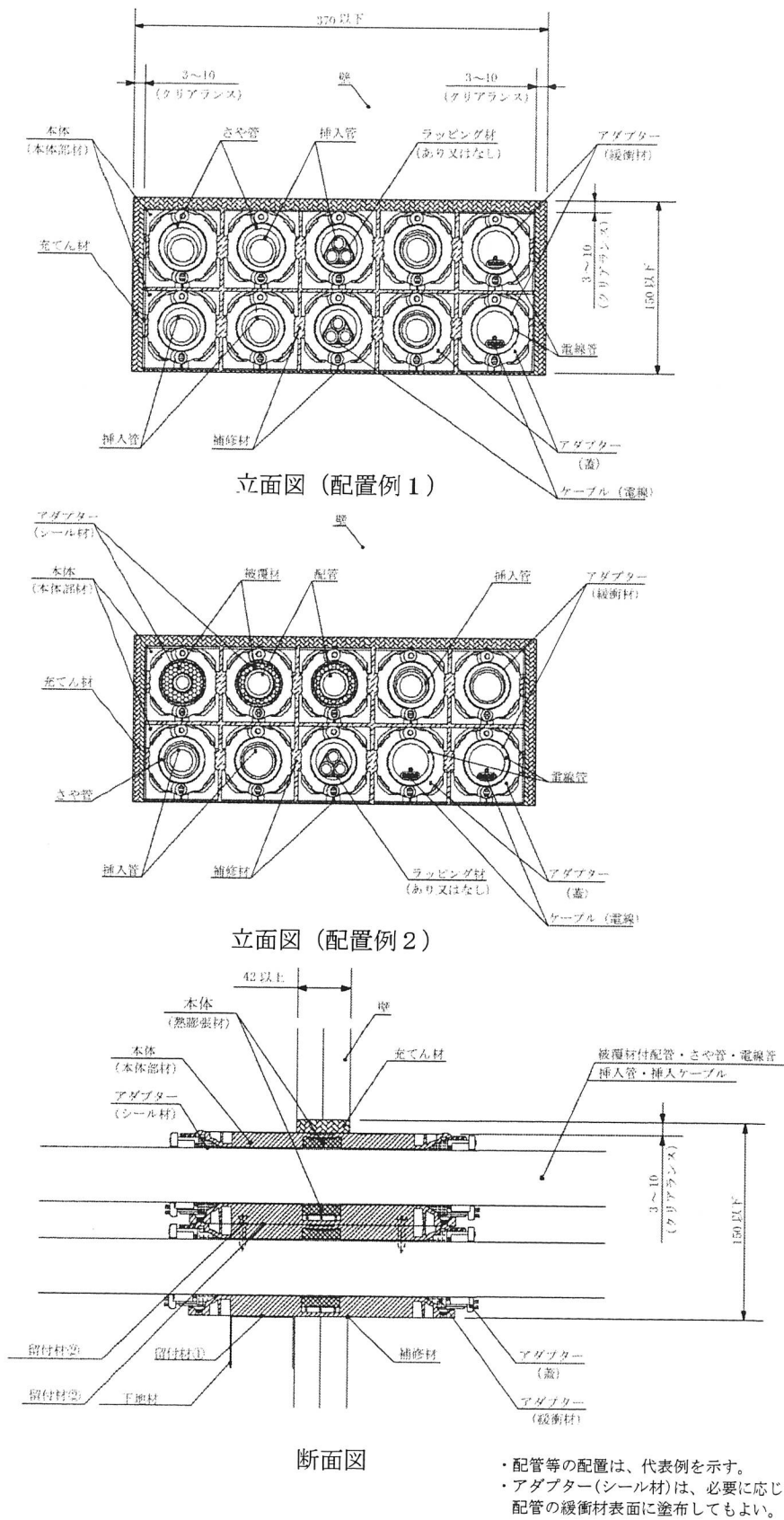
表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
留付材①	材料	①～④の一又は①及び②～④の組み合わせ ①接着剤(変成シリコン系) ②コンクリートビス(鋼製又はステンレス鋼製) ③ねじ(鋼製又はステンレス鋼製) ④タッピンねじ(鋼製又はステンレス鋼製)
	寸法	①20g/個以下 ②～④φ4.0×25mm以上
	使用箇所	下地材と本体部材の固定用
留付材②	材料	①～④の一又は①及び②～④の組み合わせ ①接着剤(変成シリコン系) ②コンクリートビス(鋼製又はステンレス鋼製) ③ねじ(鋼製又はステンレス鋼製) ④タッピンねじ(鋼製又はステンレス鋼製)
	寸法	①20g/個以下 ②～④φ5.0×25mm以上
	使用箇所	本体を2段施工する場合、本体同士の固定用

5. 構造説明図

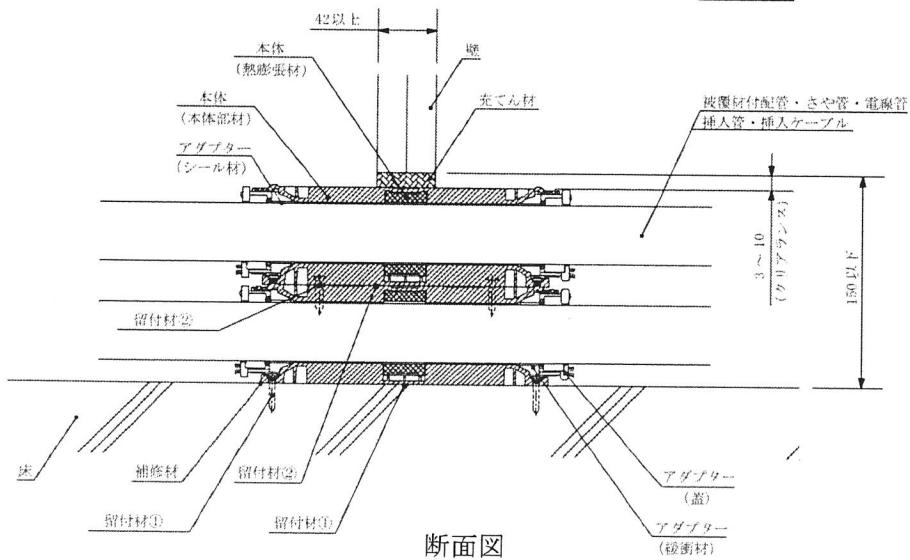
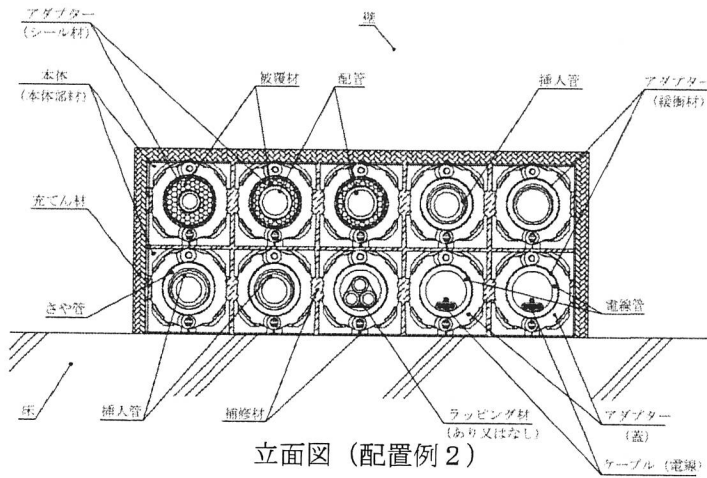
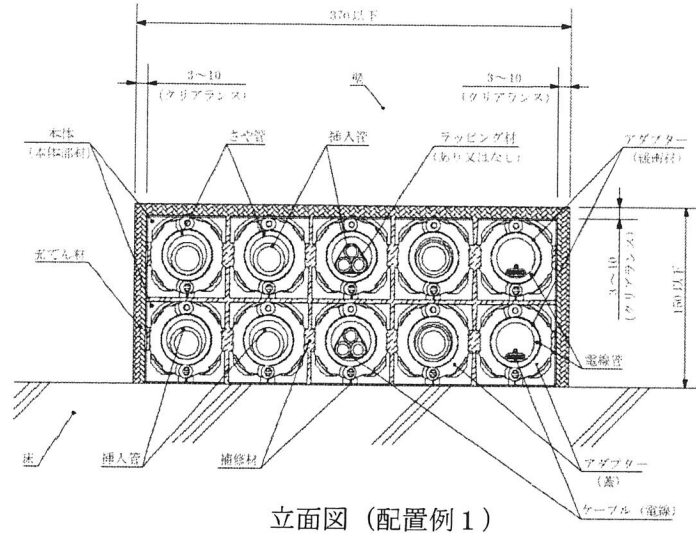
構造説明図を図1～図3に示す。

単位 mm



(本体部材を開口下辺に設置する場合)

図1 構造説明図(施工図)

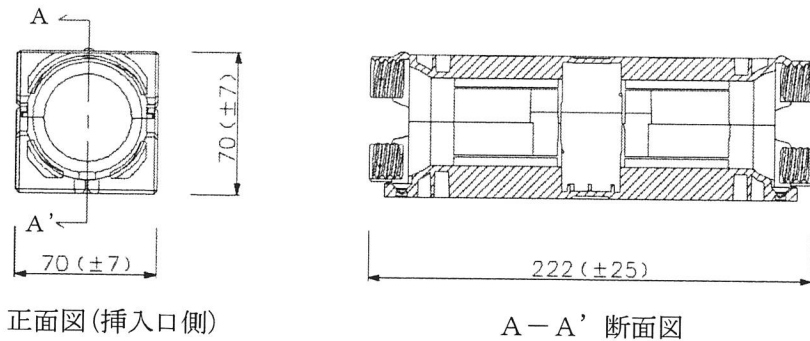


- ・配管等の配置は、代表例を示す。
- ・アダプター(シール材)は、必要に応じて被覆材付配管の緩衝材表面に塗布してもよい。

(本体部材を開口下辺に設置する場合)

図 2 構造説明図(施工図)

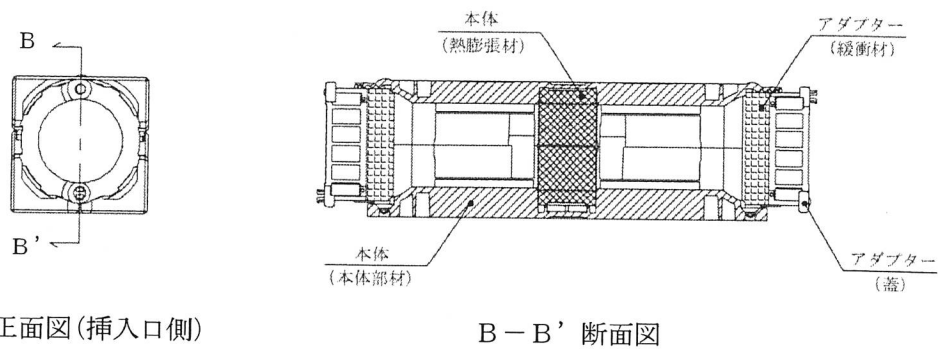
単位 mm



正面図 (挿入口側)

A-A' 断面図

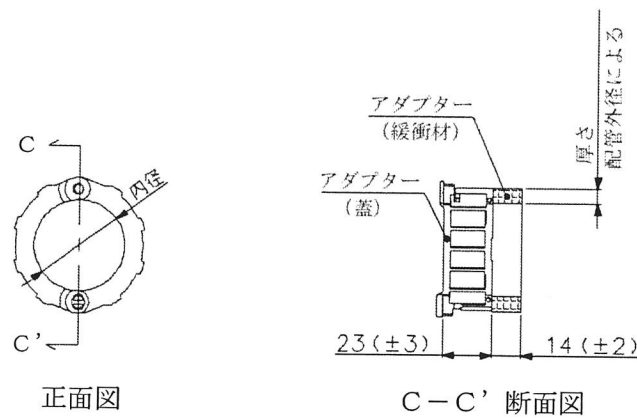
本体(本体部材)の詳細図(2分割)



正面図 (挿入口側)

B-B' 断面図

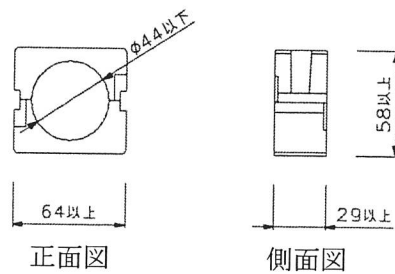
本体(本体部材・熱膨張材)及びアダプター(蓋・緩衝材)の詳細図(2分割)



正面図

C-C' 断面図

アダプターの詳細図



正面図

側面図

本体(熱膨張材)の詳細図

注) 各部材の詳細図は一例を示す

図3 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 配管の設置

配管を設置して支持・固定する。

(2) 本体(貫通部材)の設置

区画部分(界壁部)に本体を必要数設置する。

この時、本体は5列2段まで積むことができ、必要に応じて、留付材を用いて固定しても良い。

(3) アダプターの設置

本体にアダプターを取り付ける。

この時、被覆材付配管の場合、必要に応じて、緩衝材表面にシール材を塗布しても良い。

(4) 界壁の設置

貫通開口部を設けた界壁を設置する。

この時、開口上部、もしくは下部に本体部材の設置部を設ける。

また、本体部材と開口のクリアランスは設置部がある辺を除き3mm～10mmとする。

(5) 埋め戻し

貫通開口部と本体部材の隙間に、壁厚方向42mm以上充てん材で埋め戻しをする。

また、本体部材同士の突合せ、及び躯体との設置箇所に隙間が無いように補修材で埋める。

隙間が無いことを確認して仕上げる。